臨床研究へのご協力のお願い（オプトアウト）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、過去の診療録（カルテ）や支援記録の情報のみを使用する観察研究であり、対象となる患者さんへ新たな検査や治療等の身体的負担を求めるものではありません。

本研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の情報（またはご家族の情報）が研究に使用されることを希望されない場合（研究参加を拒否される場合）は、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。研究参加を拒否されても、今後の診療や支援において不利益を受けることは一切ありません。

1. 研究課題名

「後天性脳損傷による社会的逸脱行動の実態把握と司法連携課題に関する後方視的症例検討」

2. 研究の目的・意義

後天性脳損傷（特に前頭葉損傷等）では、情動依存的意思決定障害、衝動性、脱抑制、病識欠如などが生じることで社会的行動障害が出現しやすく、医療・福祉・司法等の連携による社会支援が極めて重要です。

本研究は、過去の支援記録から社会的逸脱行動等の実態を把握し、後天性脳損傷後の社会的行動障害に対する理解促進ならびに医療・福祉・司法の連携体制向上に貢献することを目的としています。

3. 研究対象者および対象期間

- **対象者：** 2008 年～2025 年の期間に、福井総合病院および福井県高次脳機能障害支援センターにて高次脳機能障害支援を受けられた後天性脳損傷者 175 例
- **対象期間：** 2008 年～2025 年
- **研究予定期間：** 倫理審査委員会承認日より 1 年間

4. 研究方法および使用する情報

診療録（カルテ）および支援記録から以下の情報を抽出し、後方視的に分析・検討を行います。

・ **使用する情報：** 社会的行動障害の有無、犯罪・詐欺被害の有無、脳損傷部位、個人特性、家族支援状況など

・ **症例提示・発表：** 犯罪・詐欺被害を認めた 5 症例について、完全に匿名化した上で学会発表および論文投稿等により症例提示を行います。

5. 個人情報の保護および管理方法

・ 収集したデータは、施錠管理下の環境にて厳重に保存・管理いたします。
・ 氏名・住所など個人を直ちに特定できる情報は削除し、匿名化を行った上で分析・提示を行います。
・ 学会発表や論文発表等においても、個人の特定に繋がる情報は一切公表いたしません。

6. 研究拒否（オプトアウト）の機会について

本研究は、支援終了後から長期間が経過している対象者が多く直接の同意取得が困難であるため、倫理審査委員会の承認を得て、公表および拒否の機会（オプトアウト）を確保する形で実施しております。情報提供を希望されない場合は、いつでも拒否のお申し出が可能です。

7. 研究組織およびお問い合わせ窓口

【研究実施機関】
福井総合病院
【研究組織】
・ 研究責任者： 福井総合病院 リハビリテーション科 医長 佐藤 万美子
・ 共同研究者： 福井総合病院 リハビリテーション科 医長 中谷 友香
福井総合病院 リハビリテーション科 副院長 林 幸司
福井医療大学大学院 保健医療学 教授 小林 康孝
【お問い合わせ・オプトアウト（研究拒否）お申し出窓口】
福井総合病院 リハビリテーション科（担当：佐藤 万美子）
〒〒910-8561 福井県福井市江上町 58-16-1
電話番号：0776-59-1300